

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月1日

事業所名 コペルプラス御器所教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・グループレッスンでの適度な距離や、部屋を分けるように配慮している。	・グループレッスン時、保護者様から見ていただく場所が狭い為、配置等の工夫を引き続き検討する。
	②	職員の配置数は適切である	6	0	・必ず職員数が足りるようシフト調整している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	・2F が粗大運動部屋で階段を利用する為、手すりを設置している。また昇降時には、保護者様にご協力いただき、指導員がお子さんの前に必ず立ち、転倒防止にも努めている。 ・気をつけて使用する箇所には、注意喚起の掲示物を設置し、指導員が都度声掛けしている。また、コーナーガードの対策もしている。	・階段の昇降で、利用者様にご不便をおかけしているが、改善は大規模となる為、困難。 ・車椅子を使用されている方からのご利用希望があった場合は、粗大運動を1F でおこなえるよう検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・毎レッスン後に消毒作業をおこない、始業・終業時も毎日掃除している。	・個別の部屋が狭いと感じられる方には、集団の部屋を使用しておこなうことも検討する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	・改善の為、職員の話し合いは適宜おこなうようにしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・評価表以外にも、来年度の利用希望時間帯のアンケートやLINE 等でご意向をお伺いする機会を設けている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・事業所内の目につきやすい場所に、評価表の結果を設置し、常時見ていただけるようにしている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	・弊社社内の取締役や保育園長、近隣のコペルプラス教室長にも助言いただくよう努めている。	・第三者による外部評価の必要性を検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・職員が順番に研修受講し、その報告・共有をおこなっている。また、毎月テーマを決め、社内研修も実施している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・アセスメントでおこなう内容を全職員で統一し、その結果を必ずフィードバックしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・コペルのマニュアルに沿っておこなっている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・ガイドラインを職員間で読み合わせ、実際の療育内容に関連している点や家族、地域支援の方法について共有。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・支援計画を常に確認し、支援に結びつけている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・基本プログラムに沿ってはいるが、利用者様の状況に合わせて内容を変更している。 ・計画案を作成する際は、全職員で話し合いをしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・基本プログラムに沿ってはいるが、利用者様の状況に合わせて内容を変更している。 ・職員間で検討し合っ、色々な経験に繋がるよう準備している。同じ内容にならないよう工夫している。	・教材が固定化されやすいので、お子さんの状況を常に把握し、楽しく取り組めるよう個別に対応する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	・集団レッスンが必要と感じられる利用者様には、児発管が保護者様にお声掛けし、相談している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・職員間の打ち合わせ時間は、十分確保している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・職員間の打ち合わせ時間は、十分確保している。毎日共有時間を設け、個人ファイルへ記録し、前回の様子などを確認できるようにしている。 ・伝えきれないことや、共有しておくこと等はメモ書きを個人ファイルに残している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・レッスン内容や支援方法等を細かく記録し、職員間で共有している。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・保護者様とモニタリングをおこない、計画案をもとに見直しについて職員間で検討している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児発管と指導員の2名で参加をし、状況説明をしっかりとこなっている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・地域事業所連絡会に参加し、関係機関と連携する。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	・日頃から受け入れ態勢について、少しずつ話合う機会を作っている。	・医療的ケアが必要な利用者様は現在いない状況。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	・不明点があれば、協力医療機関に相談できる体制である。	・医療的ケアが必要な利用者様は現在いない状況。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・情報共有を希望される利用者様については、職員2名で園へ出向き、関係機関連携をおこなっている。集団生活での課題やお困りごとをお伺いし、個別でおこなえるものは、レッスンに取り入れている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	6	・小学校との情報共有については現在おこなっていないが、希望される場合は園や保護者様を通じて書面にて申し送りしている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・担当者会などの場で情報共有をおこなっている。 ・事例検討会などに参加し、助言をいただくようにしている。	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・当事業所ではおこなっていないが、利用者様のほとんどが園へ通園されている為、活動の機会はある。	・保護者様よりご要望をいただいた際は、社内連携園にて交流を検討する。園庭開放にも参加できるよう、LINE等で周知する。	

	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	・協議会子ども部会へ参加しているが、開催自体が少なくなっている。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・レッスン後は必ずフィードバックをおこない、相談会を定期的に設けるなど、共通理解を深める場を持っている。	

保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	0	・LINE や掲示板で告知し、定期的におこなっている。	・グループでおこなう機会も検討できると良い。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時には必ずご説明し、不明点などをお伺いするようにしている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・保護者様に常時ご覧いただけるよう、ガイドラインを本棚に設置している。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・毎月相談会を開催している。 ・児発管が適宜保護者に様子をお伺いしたり、毎回のフィードバックで指導員がお話をお伺いしたりとサポートに努めている。 また、職員間でも必ず共有し、支援方針を話し合うよう努めている。	・相談会にご相談いただく機会が実際は少ない為、年に1～2回程度、懇談会として日時を保護者様にご相談すると良い。方法等、今後検討したい。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりと、保護者同士の連携を支援している	6	0	・定期的に保護者会を開催している。また、集団レッスン時にも、保護者様同士が関わり合えるよう、お声掛けしている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・毎月相談会を開催している。 ・児発管が適宜保護者に様子をお伺いしたり、毎回のフィードバックで指導員がお話をお伺いしたりとサポートに努めている。 ・LINE の活用により、以前よりもお気軽にお問合せいただける機会が増えた為、即座に対応する。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・事業所内に常に閲覧できるよう設置。 ・年間の行事予定を作成、配布している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・鍵のついたロッカーでの保管や事務所の戸締りを徹底している。 ・個人情報のあるものは、事務所以外に残さないよう努めている。 ・事前にお伺いしている内容をもとに、画像の使用許可状況を把握し、ブログ等で活用。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・言語での表現が困難な利用者様には、代弁し、捉え方を一緒に確認している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・コロナ等の感染症対策としても、ご要望があれば、見学までの対応としている。 ・希望者には体験療育を実施している。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・事業所内に常に閲覧できるよう設置。また、マニュアルの策定をおこない、訓練も定期的を実施。 ・社内研修の時間を設け、職員間でマニュアルを共有、検討している。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・様々なシチュエーションを想定し計画、実施している。 ・緊急時に対応できるよう、AED の使用方法を確認している。 ・利用者様にも非常時に備える行動の練習や内容理解に繋がるよう、レッスン内で適宜確認する時間を設けている。	・契約時にはご説明しているが、利用者様に実施報告が不十分な為、次年度以降は実施日に LINE で報告することも検討したい。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・契約時に児発管が必ず確認し、職員間で共有している。	・いただいている服薬情報をもとに、副作用などを事前に確認しておく。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5	・契約時に確認しているが、基本的に食物の提供はないため、指示書はいただいている。 ・アレルギーのある利用者様が一目で確認できるよう、一覧に分かりやすくまとめている。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・作成時全員が目を通し、ファイルにまとめている。 ・コベル本部より他事業所で起きた内容も含め、職員間で共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・気になった事例があった場合は、まず児発管に報告し、虐待防止委員会にて検討している。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・やむを得ず、身体拘束をおこなった場合は、記録に残し、保護者様へもご説明させていただく機会を設けている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。